

2024年5月21日
公益財団法人イオン環境財団

5月26日「第74回全国植樹祭岡山2024」に出展・協賛

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役 会長以下、当財団)は、「第74回全国植樹祭岡山2024」に協賛し、5月26日(日)は式典会場隣接の「ECO&MOKハレ広場」へ出展いたします。

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う、国土緑化運動の中心的行事で本年は、岡山県のジップアリーナ岡山で開催されます。

当財団は、1990年の設立以来、植樹活動をはじめとして、時代にそくした環境活動に取り組んでおります。全国植樹祭へは、2018年に開催された、「第69回全国植樹祭ふくしま2018」から協力を継続しております。

4月13日(土)には、イオンモール倉敷で行われた植樹祭の開催直前イベントで、苗木の配布と環境活動のパネル展示を行いました。

本年秋には、津山市阿波地区の大ヶ山牧場跡地で開催予定のアフター地域植樹を岡山県と共催で実施する予定です。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も様々な環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

【物品協賛内容】

苗木3千本、参加者へ配布されるエコバック1,900個、スタッフ帽子600個ほか

【開催直前イベント】

| | |
|----|--|
| 日程 | 2024年4月13日(土) |
| 場所 | イオンモール倉敷 1Fノースコート |
| 内容 | 苗木配布(ヤマザクラ100本、イロハモミジ300本) イオン環境財団の活動パネル展示、クイズラリーへの参加 |

【ECO&MOK ハレ広場の出展内容】

| | |
|----|-------------------------------|
| 日程 | 2024年5月26日(日) |
| 場所 | 第74回全国植樹祭式典会場隣接「ECO&MOK ハレ広場」 |
| 内容 | イオン環境財団の活動内容等のパネル展示 |



目録贈呈式(2023年12月21日)



エコバック・帽子



開催直前イベントでのパネル展示
以上

ご参考

【過去の全国植樹沙市への取組】

| 名称 | 実施日 | 協賛内容 |
|-------------------|------------|---------------|
| 第69回全国植樹祭ふくしま2018 | 2018年6月10日 | 苗木・ミネラルウォーター等 |
| 第70回全国植樹祭あいち2019 | 2019年6月2日 | 苗木・ユニフォーム等 |
| 第71回全国植樹祭しまね2021 | 2021年5月30日 | 苗木・帽子等 |
| 第72回全国植樹祭しが2022 | 2022年6月5日 | 苗木・帽子等 |
| 第73回全国植樹祭いわて2023 | 2023年6月4日 | 苗木・帽子等 |

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来多様なステークホルダーの皆さまとともに、万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動し、現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

「植樹」

自然災害や伐採などで失われた森林の再生、防災林の再生、気候変動課題の解決などを目的し、国内及びアジアを中心とした世界各地で地域のボランティアの皆さまと植樹を行っています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。

「助成」

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成支援を行っています。2023年までの33年間で累計の支援は3,436団体、助成金額は31億946万円となりました。現在は、「里山コモンズの再生」をテーマに、里山（里地・里川・里海・里湖）の保全と利活用を推進している団体を支援しております。

「環境教育・共同研究」

様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しております。大学連携では、早稲田大学・東京大学東北大学・京都大学・千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムを始めます。また、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目指し、日本ユネスコエコパークネットワークと、そして、地質遺産をはじめとする自然環境の保全とともに、地域の発展を目指し日本ジオパークネットワークと連携しています。

「顕彰」

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し当財団の設立20周年であった2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性 みどり賞」を創設しました。顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに17カ国19名の個人を顕彰しております。本年秋に、第8回生物多様性みどり賞の表彰式をコロンビアの COP16にて実施予定です。